

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中○、 就寝中じやな い×)	発熱 発症 後に発現 した	就寝中の場 合、就寝時 間から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	種痘接種症 等の既往	感染症等 の既往	先に 対応 した	他剤による 「異常な行 動」の副作用 性	異常な行動に 関する既往歴	継続投 与別			
251	B08025425	16	年	男性	重症レベルの福祉	2007/2/23	夕方	2007/2/23	夜間	○	Yes	-	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2007/2/23 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg内服。夜間発熱、ボツとした感じでベランダの方に行き帰ってこない。家人が出てみたところ、失踪しており、ベランダ(2F)から飛び降りたものと考え、周辺を捜索した。発見できなかったが、寝た本人が床足のまま帰宅し事なきを得た。本人はこの間の事を全く記憶していない。		
252	E03000240	18	年	男性	異常行動	2007/3/5 2007/3/5 2007/3/6 2007/3/7	不明	2007/3/7	8:40	○	Yes	-	10~20分	Yes	解熱過程	No	No	No	No	無	2007/3/5 (朝)39.2℃。本剤は投与OKです。(8:20)他院から電話で「A型Flu、39.8℃。本剤は投与OKです。」。タミフル75mg×2/日の投与開始。 (8:30)39.8℃。(夜)39.1℃。 2007/3/7 (朝)タミフル投与。(8:40)異常行動、せん妄状態発現。暴れだし、階段から飛び降りようとするが、母親がせき止める。(9:00)他院から「今暮れていて居る。救急で当院へ搬送。病歴は不明。(9:30)異常行動、せん妄状態回復(確実ではない)。(9:00)当院発熱。少し、落ち着いているが不安なし。回復後、発熱に右中心部にスパイク、基礎リズムやや不規則(8ヶ月前の縮退より良好であった)。点滴リタT3 500mL、ピタミンB、C、セルジニン10mg1日量投与。全く普通になって帰宅。		
253	B07003912	16	年	男性	①異常行動 ②疲労	2007/2/24 2007/2/25 2007/2/28 2007/2/28 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28	夕	2007/2/24	21:00	-	No	-	Yes	-	-	-	-	No	No	No	2007/02/24 インフルエンザA型と診断。本剤75mg×2回/日処方され、夕方より本剤開始。(21:00)発熱もおさまっていないのに、とにかく走りだした。かき分けとなり、素を飛び出して20分程度ランニングして帰宅。止めることのできない行動であった。本剤服用後2時間後に出現。発熱38.6℃(覚醒時) 2007/02/27熱も下がり、明らかなインフルエンザ症状は改善したにもかかわらず、食欲は極めてあるのに約10日間学校に行くことができない。寝ていなくてもならないしんどさ(非重篤)が続いた。 2007/02/28 朝、本剤内服後投与終了。 2007/03/07 食欲はあるのに、とにかく寝ていなくてはならないしんどさは回復した。	*	
254	B07005448	16	年	男性	異常行動	2008/12/22 2008/12/23 2008/12/23 2008/12/24 2008/12/24 2008/12/25 2008/12/25 2008/12/28 2008/12/26 2008/12/27	2008/12/23	4:00	○	Yes	-	10分	Yes	発熱持続	Yes	-	-	-	-	無	2006/12/22 (8:00)発熱、倦怠感あり。長校(高校)する。(16:00)午種から自費めたら、40℃の発熱あり。(19:00)来院。インフルエンザ確定診断実施。結果：FluB サンプル採取箇所：鼻腔 発症時自覚所見：発熱(40℃)、関節痛、倦怠感 本剤75mg×2回/日処方。夕方より内服開始。 2008/12/23 (4:00)急に起き上がり、靴も履かず寝着のまま外へ飛び出す。近くのコンビニへ行くも10分程度で帰宅(コンビニは幹線道路に面しており、夜間でも交通量がある)。その後再び就寝。(10:00)起床。39℃台の発熱持続。昨夜外出したことは断片的に記憶あり。 2008/12/28 インフルエンザ：軽快・回復 2008/12/27 本剤期内服後投与終了。	*	
255	B04007197	17	年	男性	①幻覚 ②下肢骨折	2004/2/2	不明	2004/2/2	夕方	-	-	-	Yes	-	No	No	No	-	No	無	2004/2/2 インフルエンザA型と診断。発症時に認められた自他覚所見：発熱、咳嗽。タミフル処方。夕方、自宅2階より道路に飛び降りたために両下肢骨折す。救急車にて入院となる。		
256	B04008396	17	年	男性	異常行動	2004/2/5	13:30	2004/2/5	15:45	○	-	-	1時間45分	-	-	-	-	-	-	調査不可能	2004/2/3 咳、頭痛発現。 2004/2/4 (18:00)39℃。(夕方)受診。体温：39.3℃。インフルエンザ判別テスト陰性。インフルエンザ流行のため、シムドレール、抗生剤など処方。 2004/2/5 (午前)発熱、頭痛、咳、鼻汁あるも普通に起床とれた。午前本院受診。体温：38.8℃。インフルエンザ判別テストA型(+)、B型(-)。点滴中はマンガの本を読む。父が迎えに来た。本剤を昼食後に服用し、シムドレールは中止する。本人に伝える。(13:30)父と一緒に昼食をとり、本剤内服。いつもと変化はない。(14:00)自宅留守番しながら寝る。 2004/2/5 (15:45頃)突然、素足で裏口から自宅を(雷降っていた)飛び出し、1m以上のコンクリートべいを飛び越え線路を横断し、国道のガードレールも越え、走ってきたトラックに身を投じた。救急で病院へ搬送されるも胸部外傷によるショック死と診断される。		
257	B05021111	17	年	男性	妄想	2004/1/22	夕方	2004/1/22	夜	-	-	-	Yes	発熱持続	-	-	-	-	-	不明	2004/1/22 A型インフルエンザ治療のための本剤投与開始(150mg/日 ~1/28)。夜、家人を見て「怖い、怖い」とベランダから逃げるような行動をとり、救急外来を受診。発熱妄想と置かれ帰宅。CT、EEGは異常なし。妄想発現(非重篤)。 2004/01/23 妄想回復。	*	
258	B07000087	17	年	男性	①異常行動 ②自殺企図 ③舌の麻痺	2007/3/20	13:00	2007/3/20	16:00	×	Yes	-	約3.5時間	Yes	-	No	No	No	-	No	無	洗面台の上に立ち上がり、自殺すると20分程叫ぶ。 その後、リビングを駆け回り、ピアノを踏み、 「もうダメだ、どうにもならない、外に出ない」と叫ぶ。	
259	B07004079	17	年	男性	異常行動	2005/11/28 2005/11/28 2005/11/29 2005/11/30 2005/11/30 2005/12/01 2005/12/01 2005/12/02 2005/12/02 2005/12/03	19:30	2005/11/28	21:30	○	Yes	-	1時間	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	無	2005/11/28 インフルエンザA型治療のため、本剤投与開始。(19:05/11/29)夜突然動き回り、ドアやベランダから外に出ようとする。本人に「どうしたのか」と尋ねると「大丈夫」としつかりした口調で答えるし、意図もはっきりしているが、どうしても外に出ようとする。マンションのベランダに出た時は飛び降りようとしたので、母親が必死に止めたので事なきを得たが、その時口では「大丈夫」と言っていた。 2005/11/29 異常行動回復。	*

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経症状を発見した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発見しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中・O、 就寝中じゃない×)	発熱 有無	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 異常な行動 の副作用	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が起きたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見たかという点について)	継続投 与例
260	B05025437	18	年	男性	異常行動	2008/1/11 10:00, 18:30	2008/1/11 21:00	O	Yes	-	-	-	-	No	-	-	-	-	2008/1/10 (夜より)発熱。 2008/1/11 (10:00)学校早退し初診。39.1℃。インフルエンザAにて本剤処方。 帰宅後タミフル(75mg)内服。 (18:30)タミフル(75mg)内服。(21:00)突然寝ていたが起きだし、外に飛び出し15分 後に戻る。その間全く記憶なし。異常行動発現。 2008/1/12 (10:00)38.7℃。外来受診。本剤内服中止(本剤以外は続行)。異常 行動回復。 2008/1/14 インフルエンザ軽快・回復。		
261	B06026848	18	年	女性	①転倒 ②自傷行動	2007/3/23	朝	×	-	-	-	解熱過程	Yes	-	-	-	-	-	朝より手首を傷つけたり、死にたいなどと口走るようになった。翌朝、2階の窓より 飛び降りて胸腰椎を圧迫骨折。診断は胸椎第一・第二骨折及び頸椎第一・第二 ・第三圧迫骨折。入院後、母は手首のリストラットの傷に気づいた。		
262	B07013137	18	年	男性	異常行動	2007/3/13 2007/3/14	夕	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明 本剤投与し、外に飛び出る異常行動発現。 2007/3/13 (夕)A型インフルエンザ(体温39.2℃)に対して、本剤の投与を開始。 2007/3/14 家から飛び出た。本人は何故家から出たかの記憶がない。 走って飛び出たのか、歩いて出たのかも不明で、気が付いたら外にいたとの 事。本剤の投与を中止。 2007/3/15 解熱し、異常は認めなかった。異常行動は回復。		
263	B07013376	18	年	男性	異常行動	-	-	-	-	-	-	Yes	-	No	No	No	No	No	不明 (夕)A型インフルエンザに対して、本剤75mg内服。本剤初回投与4時間 後、異常行動発現(非重篤)。暴れて外に飛び出そうとしたところを父親が確保。 投与2日目 (夕)本剤75mg内服。本剤2回目投与後も暴れるが、父親が確保。 投与3日目 (朝)本剤75mg内服。本剤3回目投与時には症状は発現しなかつ た。(夕)本剤75mg内服。本剤3日服用し、インフルエンザ症状は回復。2回の 異常行動について本人の記憶はなかった。	※	
264	B05022154	19	年	男性	①落ち着きのなさ ②激怒	2008/1/11	12:30	-	Yes	-	3~4分	Yes	-	No	No	No	No	No	突然激怒し、大声を出し、不穏。興奮状態でドアをこぶしで叩き壊し、隣室などを し、テレビを割る程投訴した。この間3~4分間の出来事ですその後正気に戻り、家 人が出血した両手甲の処置を行い、落ち着いた状況となった。		
265	B06005344	19	年	女性	①健忘 ②自傷行動	2008/2/1~ 2/5	朝・夕	×	No	-	5時間以内	Yes	-	No	No	No	No	No	インフルエンザ発症時に認められた自他覚所見：発熱(37℃)、頭痛、咳、鼻症状 (鼻水、鼻づまり、しゃみ)、倦怠感 2008/2/3 A型インフルエンザ治療のため、タミフル75mg×2日/日の投与開始(確 定診断未実施)。(午後)受診後、高熱。 2008/2/5 (00:00)友人と1時間位電話をしたが、電話したことも内容も憶 えていない。自傷行動(リストカット)(非重篤)、記憶消失(非重篤)が発見。(午前 1:00頃)就寝。(午前5:00頃)自覚めると左手首の切り傷に気づいたが、切ったこ とも憶えていない。自傷行動(リストカット)、記憶消失は回復。その後再発なし。 2008/2/6 インフルエンザの軽快・軽快	※	
266	B07007066	18	年	男性	異常行動	2007/5/17	20:30	2007/5/17	21:30	O	Yes	-	-	No	発熱持続	-	-	-	2007/5/16 (昼頃)発熱、咳、鼻汁の症状があった。 2007/5/17 (18:19)当院救急外来受診。その後の検査で、インフルエンザ(A型) と診断。発症時に認められた自他覚所見：発熱37.9℃、咳、鼻症状(鼻水、鼻づ まり、しゃみ) (20:30頃)当院で本剤75mg×1日、カロナール200mg×1日(発 熱時頓用)を服用し帰宅した。(21:30頃)夕食となったが、その時すでに食事をこ ぼしたり、うつろ状態でおかしかったと嫁の弁、異常行動発現。 2007/5/18 (0:30頃)就寝していたが突然起き上がり、大声で叫んだり、わめき 騒いだりしたような状態で、家族の制止聞かず自室から出ていこうとするような異常 行動あり。(1:37)母親の通報で当院に救急車で搬送された。経過観察が必要と 判断し即入院となった。(本人は前後の異常行動を全く覚えていない) 入院後は 経過観察のみ。(19:00)問題なし。退院。異常行動軽快。 2007/5/20 当院外来受診。発熱37.9℃。聴頭症はあるが、症状は軽快しその 後の異常行動はなかった。インフルエンザ軽快・回復。		
267	B05023216	20	年	男性	躁病	2008/01/21 1/22~25 1/26	夕 朝・夕 朝	-	-	-	-	-	-	No	No	No	No	No	1/22、23：夜、全く眠くならず、ゲームが楽しくて仕方なかった。寝ようとしてもソ ワゾワして寝付けなかった。 1/24：攻撃的になり、家人に暴言を吐いた。 1/25：思い立って親戚の家に出発したり、歩き回ったりした。色々な考えが頭の中 をぐるぐる回っている感じがした。嫌悪の内容も劇に入ってしまった。 1/26：株を買おうと思いつく。銀行に行つたが貯金が通じなかった。		
268	B06022661	20	年	男性	①異常行動 ②過換気	2007/2/4	不明	2007/2/5	1:52	×	No	-	5時間	Yes	解熱過程	-	-	-	不明	2007/2/4 (11:25)救急外来受診。昨日より鼻汁が出た。本日起床時より、 悪寒、関節痛が出現。BT:38.6℃、鼻汁(+)、咳嗽(-)、頭痛(-)、顔面リン ノ節腫脹(-)、インフルエンザA型治療のため、タミフル75mg×1日/日投与開始。 2007/2/5 (1:52)異常行動、過換気発現(非重篤)。寝ようとした急に不安 になって、叫びだしたりしたため救急外来受診。意識清明、座れなく立って動 いている状態。右手のしびれがある他は神経学的所見(-)。BP:106/66、BT: 35.9℃。paper bagにて加療。(7:00)約5時間睡眠後、症状落ち着いた。異常行 動軽快、過換気症候群回復。安定剤希望。カームダン錠0.4mg 1T 1回分。(8:58) 症状落ち着いている。聴頭症発症(+)、心音、呼吸正常。 CRP定量:6.6、WBC:97.1×10 ² /μL。本剤は中止。カロナール錠200mg 2T 1 × 4回分処方。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：経投投与後に異常行動を含む精神神経症状を発生した事例
 *：経投投与後に異常な行動を含む精神神経症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中○、 就寝中じやない×)	意識 喪失に 関する	就寝中の場 合、就寝時 間から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠薬服用 等の既往	解熱薬服用 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の動作 履歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたよと答えているのか？)	経投投 与例		
269	B07013249	20	年	女性	①薬 異常行動	2007/4/2	18:40	2007/4/2	服用後、数 時間	-	-	-	発熱持続	-	-	-	-	-	無	2007/4/2 18:30頃 母親が来局。患者は高熱(38.5℃)のため車の中に入った。A型インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。機密性よく本人の方分として本剤とカロナールの服用を指示。18:40頃には服用したと考えられる。服用後、数時間でうわごと、フラフラと無意識に歩行。(この段階では高熱状態継続) 2007/4/3 母親、患者の判断により、本剤の投与を中止。熱はほぼ平熱に低下。本剤、カロナール以外の薬を投与継続。午前中に、地方医療診、昨晩の症状・行動について連絡。セフゾンカプセル100mg3cap、3×ndE 4TD処方追加となる。異常行動は回復。 2007/4/9 インフルエンザ完治を確認。			
270	B07003477	23	年	男性	異常行動	2007/1/24	不明	2007/1/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	統合失調症 (疑い)	他院にて処方(クレミン(25)、リスパダール(2)、アキネトン(1)、ベケタミン、ベンザリン(10)、テグレート、ロヒプノール(2)) 2004/04/24(午前中)高熱39℃(インフルエンザ)にて当院来院。インフルエンザ検査にて、A型インフルエンザと診断。シメトレルIT 2×3T、ムコソルビン、フロキサシド、ムコスタ、カロナール(頓用)IT、IT(回復)。精神病棟を退院している。シメトレルから本剤に変更する。(精神神経症状について十分な説明の後、本剤10mg服用するように指導され処方する) 帰宅し本剤0.5mg×1/回復後、自宅マンション2階から飛び降りる。患者は一命を取り留めるが、現在身体障害者となっている。 (患者情報)もともと熱を出すフラフラする体質で、異常行動を起こす前にもめまい等起こしている。			
271	B07013331	23	年	男性	異常行動	2007/2/10													無	2007/2/10 インフルエンザ陽性に対して、本剤の投与を開始。投与開始後5~6時間後(夕方)に急に玄関に飛び出し、玄関前にてぼーっと立ってぼんやりしている所を親が見た。その後意識は回復した。患者はその事を覚えていないとのこと。			
272	B07003168	24	年	女性	①異常行動 ②感情不安定	2007/4/17 2007/4/18	朝夕	2007/4/18	23:00	-	No	-	2~3時間くらい	Yes	解熱過程	Yes	No	-	No	不明	4月18日(23:00)異常行動、感情失調発現。吐き気あり。気分が高揚し、走り出したい気分となり、何をみても笑いが止まらない状態となった。自刺しようとする意識もあるが、走り出した自分を止められず(自覚症状あり)、部屋の中で寝てしまいが、1階に下りて母親に「助けて」と訴える。 4月19日(00:00)母親に連れられて来院。その後、大声で笑いがとまらない。そのうち笑いが止まらなくなり、これに対して泣き止めた(1:30まで)。見当識障害多少あり(なぜ急車にきたかわからない)。入院。入院後も泣き続けていた。(6:00頃)ほぼ元通りの人格に戻った。		
273	B08023316	28	年	男性	自殺企図	2008/1/20	不明	2008/1/20 2008/1/21	23:30~ 24:30 寝中	約2時間後	約2時間後	10分 約2時間後 に再び異常 行動。程度 は一。持続 時間は10分 程度	No	発熱持続	Yes	No	No	-	No	無	2008/1/20 インフルエンザ治療のため、タミフル75mg×2/1日処方。(00:00)38℃にてボルタレン坐剤使用(本薬処方ではない本人手帳)。タミフル75mg服用後(1回目)、異常行動(自殺企図)発現。夜半に起床し玄関まで、サンダルの履き履下(履き3F)に落ちたため、患者の奥様が止めたところ、何かに追われた様子で「お前に申し訳ない、死んでから謝ろうと思った」ということを発音。異常行動は10分で回復。落ち着いてから謝罪を正すと、自分がこの行動の記憶があると事。当時不安になるような心当たりは全く無し。(9:00)38.6℃ 2006/1/21 約2時間後に再び異常行動。程度は不明。持続時間は10分程度。		
274	B03001089	28	年	男性	気分変動	2003/1/3	20:00	2003/1/3	20:10	x	No	-	2~3時間	Yes	-	Yes	-	-	No	無	2003/1/03 体温:39.5℃。痙、嘔吐感、下痢症状あり。精神状態は特に異常なし。インフルエンザと診断。(20時頃) タミフル(75mg)1Cap、アジチド(200mg)1Tab、アセトフェン(10mg)1Cap、アセトフェン(20mg)2Tab 服用。(20時10分頃)気分変動あり。頭の血管が切れそう感じ。何をか分からない(例えば刃物を振り回すかも知れない)感じが出て、妻子に遠くへ連れて行くように言った。玄関の辺りで、ドをけとばしたりしていたが、その後倒れていたの模様。妻が行った時、眼は閉じており返事もなし。この頃、積んでいた救急車が来て病院へ搬送。到着時はかなり意識が落ちていた。輸液などうけて、1時間後には帰宅。(他院における追跡調査不可能。以上は翌4日に電話連絡時の話)その後、症状回復。以後の本剤投与は中止。		
275	B07001666	30	年	男性	異常行動	2007/3/28 2007/3/29 2007/3/30 2007/3/31 2007/4/1	不明	2007/3/31	午後	○	Yes	-	No	-	No	No	No	-	No	無	3月28日本剤投与開始。 3月31日(午後)寝ていきなり起き上がり、包丁を持つ。 4月1日(午後)寝ていきなり飛び起きて、外に出て道路に飛び出した。以後も似た感じが続く。夕食後分のタミフルから内服中止とした。インフルエンザ検査。 4月2日以後徐々に意識清明となってきた。 4月3日異常行動回復。	※	
278	B08025192	32	年	男性	異常行動	2007/2/22	20:00	2007/2/22	24:00	○	-	-	3時間後	行動直後	Yes	-	Yes	-	-	No	無	2007/2/22 (16:00)発熱のため、当院来院。インフルエンザA型と診断。タミフル(75mg)2cap、分2、5日間処方。(20:00)タミフル75mg服用。発熱(21:00)就寝。(0:00)何とも覚えられない嫌な気持ち、動悸等があり、不穏状態となる。ベランダのある居室に行き、電燈を著け、窓と入り口の間を行きつ戻りつして、結局、ベランダに出て地上に落下。(騒乱状態になり、自宅の2階から飛び降りて足を骨折)この間、気分悪化もあるが制御できず、転落後意識清明となり、救急病院を受診。左足後方骨折あり入院となった。入院後意識清明、不穏行動なし。入院時には高熱はなかったと聞いた。発熱時から内服薬として処方したロキソニンを服用したかどうかは不明。この日家族はいなかった。 2007/2/23 (0:00)手術のための処置。その意識ははっきりして、体温も36℃台であったと当日直営の医師談。 2007/2/27 右足骨折、手の怪我のため、整形外科で手術。 2007/3/01 入院中。意識レベルは正常。異常行動回復。 2007/3/8 手術。 2007/03/14 退院。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時期	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中・O、 就寝中じゆん い：X)	覚醒直 後に発現 した	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族症	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の既往 有無	異常な行動に 関する既往症 の有無	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見たように感じたのか？)	継続投 与例		
277	B06026628	32	年	女性	①眼痛 ②嘔吐 ③頭痛 ④関節痛 ⑤眩暈 ⑥感度消失	2007/3/12 2007/3/12 2007/3/13	10:00 18:00 朝	2007/3/12	22:00～翌 8:00	O	Yes	-	3時間	Yes	-	No	No	No	No	Yes	無	2007/3/3 親戚のインフルエンザ陽性の子供と接触。 2007/3/8 咽頭痛、鼻水、咳等の症状始まっている。 2007/3/11 発熱38.5℃。市販のツムラ葛根湯液服用。 2007/3/12 当院初診。受診時症状：全身倦怠、全身痛、関節痛、食欲不振、体 温37.1℃。インフルエンザA型と診断。点滴：ゾリタ3 200mL・VC500mg*オベロ ン1A+セタファント(25)1A+リソシン300mg、(1000)点滴終了後、タミフル1カプ セル服用。(17:00～21:00)就寝。(19:00頃)タミフル1カプセル服用。 (22:00頃)目覚めて、次に気がついた時はトイレに坐っていた。フロンからトイレに 行った間の行動の自覚なし(無意識状態)。意識消失または一過性健忘発現。その 後、(3:00頃)自覚した(3回)が、これらは全部行動がなかった。 2007/3/13 (8:00頃)発熱消失たは一過性健忘回復。本剤服用。起床時より 右足関節痛が歩けないくらい痛んだ。足関節痛(非重篤)発現。その後、強い頭痛 (動かすとガングする、非重篤)、腰痛(非重篤)、ツワツワする感覚があり、 この症状は1日中続いたのでタミフルは服用せず。(20:00頃)涙になって 入浴した時、異常な脱毛(通常よりも多いと感じた)を認めた。しかし初診時 の全身症状は軽快したようだ。 2007/3/14 (20:00頃)脱毛軽快。 2007/3/15 頭痛(非重篤)、腰痛(非重篤)軽快。 2007/3/3 その他、右足関節痛続くので整形外科受診するも骨X線異常なし。 2007/3/19 脱毛症状なし、神経症状等なし。足関節痛みは特に朝方強く感じ る。足関節痛(非重篤)未回復。インフルエンザ軽快・回復。	*
278	B07013314	32	年	女性	幻覚	2007/3/30 2007/4/1		2007/3/30	夜	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/30 インフルエンザに効いて(体温37.4℃)で、本剤75mgを内服開 始。 2007/3/30 (夜)幻覚がみられた。(階段をかけた下り。) 2007/4/1 口内炎が発現。 2007/4/1 本剤の投与を中止。 2007/4/5 幻覚は回復、口内炎は軽快した。 2003/1/21 インフルエンザA型と診断。タミフル150mg/日(分2)を朝より投与開 始。 2003/1/23 (0:00)不眠、不安が発現し来院。夜の服用にて本剤投与中止。 2003/1/24 (10:00)幻覚が発現。家族を困らせた。来院日中も興奮状態。ア ロファラム5mg錠投与前投与開始。 2003/1/28 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は次第に消退。 2003/1/31 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は回復。 2003/02/06 アロファラム投与終了。	*	
279	B03000831	35	年	女性	①知覚過敏 ②不安 ③不眠症 ④眩暈 ⑤幻覚	2003/1/21 ～1/22	不明	①2003/1/24 ②2003/1/23 ③2003/1/23 ④2003/1/24 ⑤2003/1/24	①日中 ②0:00 ③0:00 ④日中 ⑤16:00	-	-	-	No	発熱持続	Yes	No	No	No	No	無	2003/1/23 (0:00)不眠、不安が発現し来院。夜の服用にて本剤投与中止。 2003/1/24 (10:00)幻覚が発現。家族を困らせた。来院日中も興奮状態。ア ロファラム5mg錠投与前投与開始。 2003/1/28 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は次第に消退。 2003/1/31 不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は回復。 2003/02/06 アロファラム投与終了。	*	
280	B06026663	40	年	女性	不思議の国のアリス 症候群	①2007/3/15 ②2007/3/16 ③2007/3/18 ④2007/3/17	①17:00 ②18:30 ③17:00 ④18:30	2007/3/15	①投与後比 較的早く ②18:00	X	No	-	30～50分	No	-	Yes	No	No	No	-	ウイルス性脳 炎	2007/3/14 寒熱、関節痛にて発症。インフルエンザB型と診断。 2007/3/15 (17:00)自宅に帰る際タミフル75mg×1/回服用。(18:00)投与後比較的 早く浮遊感「どっも気分よい感じ」が出現。多幸感を伴っていた。このためウ キウキして室内を歩いていたところ「鳥が見えた」(幻視)。これに誘われるように 4Fベランダ(患者宅はマンション4F)に出て下を見たら、「地面がどても近くに 見えた」(遠近錯覚)。これら一連の異常行動は不思議の国のアリス症候群に至 る。夫にみとめられ布団に戻されなきを得た。(22:00)就寝。(翌日9:00起床) 2007/3/16 (9:30)タミフル75mg×1/回投与。(17:00)タミフル75mg×1/回投与。 不思議の国のアリス症候群回復。 (22:00)就寝。(翌日9:00起床)。 2007/3/17 (9:30)タミフル75mg×1/回投与。症状軽快。本剤中止。 2007/3/21 インフルエンザ回復。 2007/3/24 当院はこの件が報告され、デンカ生研製インフルエンザCF法(B)に て16倍の抗体価を得た。	*
281	B06026707	45	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/28 2007/2/28 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28 2007/3/1	18:00 23:00 不明 不明 翌夜 朝	2007/2/28	-	X	No	-	-	-	解熱後	No	No	No	-	No	不明	2007/2/28 37.6℃の発熱にて来院。A型インフルエンザの診断にて本剤75mg ×2回/日処方。(18:00)夕食後、タミフル内服。 (23:00)タミフル内服。 2007/2/27 朝、35.7℃に熱は下がりに回復に向かう。夜、気分が高揚し、早口の 自分に気付く。夜は寝付けなかった。 2007/2/28 歩行中、自分の前後の記憶が一部飛んでのちに気付く。また、踏 切の遮断機がおりているのに気付かず、踏切板が頭に当たって恐怖を感じる。 意識障害発現。翌夜、本剤服用。 2007/3/1 朝、本剤服用。現在、若干気分は興奮を感じる。症状は声がけれと 鼻水のみ。本剤中止を指示。患者は、なぜ本剤で自殺するのか、今の自分はな んとなくわかると言っていた。 不明 意識障害回復。	*
282	B07000244	48	年	女性	錯乱状態	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20	不明	①② 2007/3/20 ③2007/3/20 ～3/21 ④2007/3/21	①朝 ②午後 ③夜～朝 ④8:40	-	-	-	No	No	解熱過程	Yes	-	-	-	無	①何度も外出しようとする。 ②訳のわからないことを言う。 ③奮動が著しく異常。朝頃動けなくなり、寝たままで大声で意味不明なことを話 す。 ④錯乱状態。立てない。矢張りあり。呼びかけに返事するが、すぐに大声で話し 始める。水分取れない。	*	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発現した事例
 *：継続投与後に異常な行動を含む精神神経系症状を発現しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	発症直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服して 完全回復	体温	患者の記憶	医師等 の既往	医師等 の家族歴	発熱に対する 反応	他剤による 異常な行 動の副作用	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な経緯 (例：幻覚については具体的に何が見たか？本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと言っているのか？)	継続投 与例	
283	B05004486	49	年	男性	死亡	2006/2/17 2006/2/18 2006/2/18 2006/2/19 (18日の夜は 不明)	夜 期 夜 期	2006/2/19	20:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2003/7 胸外心臓、突発性心臓病にて当院循環器科を受診しており、アスピリン、バイアスピリンを投与されていた。 2006/2/17 (18:20)発熱、39°Cの発熱、咳、鼻症状、関節痛、倦怠感を伴いタミフル15mg×2日(18:20)を投与(→2/19)、不安、精神神経系の症状はみられなかった。 2/20に子供がインフルエンザA型に罹患している為、インフルエンザA型と推定される(確定診断はしていない) 2006/2/19 (20時頃)家人に気づかれる様で外出した。 2006/2/20 捜索断りを警察に出される。自宅より30km離れた海の岸壁で車を発見。人が海に落ちた形跡があった。 2006/4/28 海中より死亡した本人が発見された。		
284	B08026847	49	年	男性	自殺企図	2007/02	不明	2007/02	知方1週間後	○	Yes	-	No	Yes	解熱過程	No	Yes	No	No	No	2007/2/14 インフルエンザ予防のため、本剤75mg×2回/日処方。 2007/3/8 夜中に発熱。 2007/3/9 (6:00頃)自殺企図。首をつろうとしていたのを家族が発見。頸動脈血検を治したばかりで、自殺するとは考えにくい。自殺前に本剤内服していたかは不明。現在、精神科に入院中。	(熱動脈血検査)
285	B05025724	51	年	男性	①自殺既遂 ②精神症状	2006/3/7	19:00	①2006/3/8 ②本剤内服前	①8:30 ②未記載	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	不明 本剤投与。精神症状の強い発現。 2006/3/1 救急外来に来院。肺結核後遺症(陈旧性肺結核)に伴う慢性呼吸不全に感傷を合併したため、観察・治療目的で入院。体温:38.1°C、血圧:120/82mmHg、脈拍:149/分、呼吸:40/分、SpO2:96%、インフルエンザテスト(-) 2006/3/8 体温:38.1°C、インフルエンザテスト(-) 2006/3/7 経過は良好であったが、院内でインフルエンザに感染。(18:00頃)両下肢のしびれ感の合併があり、病状の健康に關して全般的に不安を訴えていた。(19:00頃)体温:39.2°C、鼻腔粘膜の迅速検査でインフルエンザA陽性確認。発熱時自覚覚醒し、発熱(39.2°C)、咳、倦怠感、食欲低下、タミフル75mg、ナゾ1600mg内服。(22:00)体温:37.3°C 2006/03/08 (5:00)生存を確認。(6:30)病状不在を確認。自殺目的で4階自病室前のベランダから飛び降りた。(7:30)自病室前の路上に倒れているを発見されたが、死亡していた。自室のノートに遺書あり。	①②無
286	B07000264	51	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/8	夕	2007/2/8 2007/2/7	19:30 2:00	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/2/8 (9:30)頭痛で当院受診。インフルエンザ検査(-)、タミフル、プレシリン、クロリアミン投与。受診後、出張。(昼)タミフル75mg、プレシリン1錠服用。(夕方)40°C程の発熱により、タミフル75mg、プレシリン1錠服用。(19:30)しやべりにくくなり、また身体が痛く動けなくなる。意識障害発現。 2007/2/7 (2:00)同様の車でB病院に受診。インフルエンザ検査(-)。以後本剤服用せず。同様の車でB病院からC病院へ転院を試みる。移動中に車から道路に出ようとし、危険だったのでB病院へ戻る。異常行動発現。(朝)救急車でB病院からC病院へ出発。(11:30)C病院到着。到着時、患者は言葉にならず、点滴を外そうとしたり意識は普通ではなかった、不穏状態。JCS3、入院。 2007/2/8 (朝)意識レベル改善。 2007/2/24 意識障害回復。	不明	
287	B07000070	54	年	男性	①遺棄 ②緊不全 ③異常行動	2007/3/22 2007/3/24	15:00 朝	2007/3/22 2007/3/24	夜 朝	×	Yes	-	30分	No	発熱持続	No	No	No	No	No	尿・便失禁後、復の上に座ったりベッドの上に立つ等の行動。	無
288	B05020017	56	年	男性	精神症状	2005/2/18~ 2/21	1日2回	2005/2/21	服用から 2hr後	-	No	-	-	Yes	解熱後	Yes	No	-	No	No	2005/2/18 インフルエンザ治療のためタミフル投与開始。(150mg/日~2/21) 2005/2/21 夜服用し2時間後に突然うつ状態になり自殺したくなる。窓から飛び降りたくなる衝動にかられたが、子供のことを考えとどまる。(精神症状発現) 2005/02/22 精神症状回復したが、恐ろしくなり本剤を自発的に中止。	不明
289	B05024386	58	年	男性	①意識レベルの低下 ②呼吸困難	2006/01/28 2006/01/28 2006/01/29	夕食後 就寝前 不明	2006/01/29	AM5:00	-	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	2006/1/28 近医にてインフルエンザA型の診断を受け、本剤を処方。夕食後と寝る前に1capずつ内服。 2006/1/29 (3:00)本人の記憶あり。(5:00)呼吸音出現。家人が声をかけたが、振り払い罵れだしたため当院救急外来へ搬送。意識障害発現(非重篤)。(6:45)当院救急外来受診。来院後、意識が戻りそこらに記憶があり。処置を行い軽度観察目的で入院。以後は本剤を中止し、経過観察。意識レベルは問題なく、呼吸音も消失。炎症反応も回復した。 2006/1/30 (午前)意識障害回復。意識レベル問題なし。その後も意識障害発現なし。 2006/2/1 インフルエンザ軽快。 2006/2/3 軽快退院。	無
290	B07000263	58	年	男性	意識障害状態 誘発	2007/3/12 2007/3/12	13:30 18:00	2007/3/13	7:00	×	Yes	-	20時間	No	解熱過程	No	-	-	-	No	無	
291	B06025002	59	年	男性	異常行動	2007/2/14	不明	2007/2/14	-	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	2007/2/14 インフルエンザ治療のため、他院で処方されたタミフル投与開始(75mg×2日)、異常行動発現。本人に記憶はないが、患者の家族から見ると明らかに異常な行動を示していた。本剤投与中止。 2007/2/19 症状は回復傾向であるが、異常行動未回復。	不明	
292	B07019805	60	年	女性	異常行動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タミフル服用後、睡眠中に目の前が真っ赤になり、火事だと思いきや飛び出た。また、菊の花が見えて、それを取ろうとすると花が前にすすんで取れない。このような状況で怖くなり、なるべく遠くまで逃げようとしていた。異常行動発現。	-

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：発熱投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発見した事例
*：発熱投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発見しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否 か (就寝中:○、 就寝中じつな い:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復まで の時間	一錠りて 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠薬等症 等の既往	感染症等症 等の既往	先に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の既往 有無	異常な行動に 関する既往歴 有無	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたか?と答えているのか?)	発熱投 与例
293	B07016337	61	年	女性	異常行動	2007/4/2	2007/04/02	不明	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/04/02 関節痛、鼻炎、発熱のため受診。 A型インフルエンザと診断。本剤 2T/day x 3日分処方。 本剤1錠服用後、数時間(正確な時間は不明)経過したとき、横断歩道にて待機中、信号は赤でも関わらず、ふわっとした感じで飛び出してしまいそうになった。車のクラクションを鳴らされ、無事であった。その後は服用せず。	
294	B06025118	64	年	男性	精神状態変化	2006/2/17 2/18~2/19	2006/2/18	日中	-	-	No	No	-	Yes	-	-	-	No	自殺企図	(2006/2/18)日中、ぼんやりして立ちつくす。反応が鈍い。 夜、不眠、じっとしていられず動き回る。 (2006/2/24)落ち着かない様子あり。 (2006/2/28)「おにた」「おにた」と言い、落ち着かない。 (2006/3/1)午前後不眠を訴える。ボーとしているが、落ち着かない。 (2006/3/1)17:00過ぎ近所の家の玄関に灯油をまき、自殺するつもりで、マッチで火をつけた。すぐに消火され、ボヤですんだ。 (2007/3/22)現在、転帰は回復されている。	
295	B05016850	67	年	女性	副癌肝炎	2005/11/10 2005/11/11 2005/11/12 2005/11/13 2005/11/14	2005/11/18 2005/11/19	夜一	-	-	No	No	解熱過程	No	No	No	-	No	うつ病	2005/11/8 インフルエンザワクチン接種。 2005/11/9 発熱(39.8℃)、咽頭痛(+)、悪寒(+)。 2005/11/10 発熱。インフルエンザの疑いで本剤の投与を開始(150mg/日 ~11/14)。 2005/11/14 他科受診。X-P正常、熱(-)、便潜(+)、HCV(-)、HbA1c(-) 2005/11/15 急性肝炎(疑)入院。黄疸(+)、血中アンモニア:188、APTT:46.7秒、プロトロンビウム時間:21.8秒、HA抗体-IgM(-)、全身倦怠感、黄疸、肝不全発現。入院。 2005/11/17 夜間、朝おり意味不明言動あり。 2005/11/17 全身異常発現、水様便多量。 2005/11/18 全身倦怠感増強。 2005/11/19 ベッドより飛び降りたり、大声で叫んだりする。血換交換のために一時他院へ転院。 2005/12/28 当院へ帰院。 2006/01/27 退院。	
296	B06001534	71	年	男性	①平衡障害 ②異常行動	2006/4/1	2006/4/1	①17:00 ②22:00	×	-	28時間	少なくとも8時間以内	-	解熱過程	No	No	No	No	-	①(17:00) 覚醒後、自動車運転。 同乗の妻より車がまっすぐ走らない、方向感覚がおかしい、電柱に車をぶつける、車庫に車をうまく駐車できない、自宅に戻るも不安定で座位がとれないとのこと。 ②(20:00)本剤75mgを服用。 ③(22:00)覚醒。平衡機能障害回復(持続時間:5時間)。 ④2006/04/01(22:00)覚醒。突然、田植えをしている動作あり。家人が話しかけると「田植えをしている」と、また、ほうきをはいている動作をするなどの異常行動が見られた。 2006/04/02(22:00)異常行動回復(持続時間:24時間)。	
297	B06017551	71	年	女性	躁妄	①2006/3/2 3/3~3/6 ②2006/3/7	①2006/3/6 ②23:00	-	No	約1時間	30分~1時間	Yes	-	Yes	-	-	-	-	無	2006/2/26 気管支炎の治療のため入院。 2006/3/2 プレドニゾロン30mg開始。(15:00)点滴終了。ジスロマック処方される。食欲低下続く。夕食摂取できず。 (18:00頃)38.5℃の発熱。背部痛もあり。クーリング施行。(21:00)KT:38.5 ナイブ0.5g頓服服用。嘔吐、呼吸苦もあり、腋窩経鼻でIL開始。SpO2:91%。(21:30)インフルエンザA型にてタミフル75mg x 2回/日処方。75mg服用。(~3/7朝)アミノフィリン16mL(400mg)で開始。 2006/3/3 プレドニゾロン20mgへ、食欲低下続く。1割ほど摂取。下肢の痛み、関節痛、背部痛は軽減。(6:00)KT:37.2 (20:00)KT:37.2 2006/3/6 食事摂取は1~3割、脱水は少しが、発熱なし。(6:00)38.7。 (20:00)37.2。(23:00)失禁。部屋からでてようとしているが、点滴がドアにはさまっている。ナースが付き添いトイレへ、暫くして見に行くと「間に合わなくて」とズボンをはいている。夜間せん妄(非重篤)発現。 2006/3/7(6:00)昨日は昏迷になり夢遊病者みたいにおしっこを漏らしてしまい替えようと思ったら、シャツをズボンにして履いていた。床にうずくまって泣いていた。今はしっかりしている。食欲低下はまだあるため3~5割ほど摂取。プレドニゾロン10mgへ。以後症状なし。夜間せん妄回復。(10:00)KT:36.3。 (20:00)KT:36.3。2006/3/8 インフルエンザ回復。退院される。	*
298	B05000692	72	年	男性	①虚寒 ②意識レベルの低下	2005/2/25 ~2/28	2005/2/28	22:40	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	無	2005/2/25 インフルエンザB型と診断。タミフル150mg/日、PA錠 3錠/日、カロナール600mg/日投与開始。 2005/2/28(22:40)突然大きなびきと共に暴れた。23:00救急車で来院。意識障害を認め、ホリゾンIV、CT、血液検査施行。CT:正常。タミフルおよび併用薬投与中止。 2005/3/1(1:00)病室へ入院。(4:00)虚寒、全身間代性発作発現。(4:07)発作消失。 高CK血症、GOT、LDH上昇あり。補液(ブドウ糖F1000mL(~3/6)、アミノフリード500mL(~3/3))施行。 2005/3/2(8:30)意識レベル清明。 2005/3/9 虚寒、意識障害回復。退院。	

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例
 *：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時 前	就寝中か否 か (就寝中○、 就寝中じま い×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	回復までの 時間	一服りして 完全回復	体温	患者の記憶	聴覚異常症 等の既往	聴覚異常症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 異常な行 動(副作用 使用)	異常な行動に 関する既往 歴	異常な行動の具体的な詳細 (附:幻覚については具体的に何が起きたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよとどう思っているのか?)	継続投 与例
299	B05000875	72	年	男性	譫妄	2005/2/8 12:20 21:00 2/10~2/12 1日2回	2005/2/9 21:05	×	No	-	9分	Yes	解熱過程	Yes	No	No	No	No	無	2005/2/9 (12:20)39℃の発熱で来院。インフルエンザ抗原(+)。当院にて本剤1cap服用し、増量(20:00)夕方まで一服熱。普通夕食摂取。(21:00)前後夕食後自宅へ戻り本剤服用。常用薬の服用は服用。その後8~10分で天井が回り出し、明未明まで記憶がはっきりしない。 2005/02/10 (8:22)家族から電話。部屋をひたひたまで驚かしてある。ストーブ転倒パッドに打撲がひどい。本人は打撲を右胸に抱えている。顔面の打撲あり。解熱まで本剤の服用を中止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示。せん妄は回復。 2005/02/11 タミフルは夕方の投与で中止。	*
300	B05024208	74	年	不明	①異常行動 ②大脳骨折 ③幻覚	2006/2/8~ 2/10 朝-夕	2/10 2/11~12 夜間~未明	×	No	-	No	No	解熱過程	No	No	No	No	No	不明	2006/2/8 インフルエンザA型と診断。タミフル75mg×2/日投与開始。異常行動発現。 2006/2/10 (朝)幻覚発現(重篤度不明)。継続。インフルエンザ軽快。 2006/2/11 夜間から未明にかけて徘徊し、家族がさがしたが結果的にパトカーで確保された。 2006/2/12 家族がうたれた後に、2階より飛び降りて大腿骨骨折。(Dr:寝ていないのではないかと、現在治療のため入院中)	
301	B02013397	70	年	女性	①落ち着きのなさ ②実態	2003/1/2~ 1/6 1日2回	2003/1/4 1:00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	抑うつ神経症	2002/3 この頃、被害妄想顕性化し他院通院。 2002/7/24 同院に入院し加療。抑うつ神経症の診断。 2002/12/9 状態が安定化したため、当院に入院。レボチミン10mg/日、パキシル30mg/日投与開始。 2003/1/2 (10:20)体温39.0℃、倦怠感。(8:00)体温38.1℃、倦怠感、関節痛、上気道症状(鼻水、咽頭痛、咳等)は認めず。インフルエンザの診断検査実施しなかったが、インフルエンザ感染を疑いタミフル2カプセル分2を5日分処方。 (20:00)体温37.1℃、倦怠感、関節痛。 2003/1/3 (20:00)体温37.2℃、倦怠感、関節痛。かぜ症状は認めず。 2003/1/4 (1:00)電気をつけ、窓をあけゴソゴソしている。意味不明語、妄言、不穏あり。体温37.2℃、倦怠感、賢部痛、股関節痛あり。その後同様の状態がつづき徘徊して目が離せなくなる。タミフルは継続。(13:20)チ/バス0.5mg3錠/日(分3)投与開始。少しずつ精神状態安定化。 2003/1/8 チ/バス2錠/日に減量。タミフル投与終了。 2003/1/8 症状軽快。	*
302	B06016883	83	年	男性	譫妄	2006/1/9 2006/1/9 2005/1/10 2006/1/10 2006/1/10 2006/1/11 朝晩 朝食 晩飯 朝	2006/1/10 10:00	×	No	-	34時間	No	発熱時のみ検出あり	-	-	-	-	-	無	落ち着きがない、やや興奮気味。「これはいや、寝るからいらん」と顔面紅潮させる。点滴ルートやチューブでぐるぐる巻きになっていた。「もういらんね、別にもう結構です」と何を言っているかわからない。不穏状態続く。ゼイゼイしながら、熱い熱い顔を見ていた。病棟内をうろつく。隣の患者のベッドに乗り込み、何かいると、とても怖がる様子、看護士がなだめる。ぼっといとのこと、病棟をうろつくし、他の患者のところに居座る。杖を振り回す。起きるとすぐに意味不明発語あり。徘徊	*
303	B06025119	83	年	男性	異常行動	2007/12/7 朝	2007/2/7 12:00	×	No	-	-	-	解熱過程	Yes	No	No	No	No	不明	2007/2/5 インフルエンザと診断。タミフル75mg×2回/日投与開始(〜2/6)。 2007/2/8 (20~21:00)就寝。 2007/2/7 (朝)タミフル減量(75mg×1/日)。(屋前)浴室にいた。睡眠不足はなし。車の運転が大好きで当日、奥さん(入院中だった)の病院へ自分で車を運転して行くつもりだったが、インフルエンザにからり、高熱が出ていた(当日は熱はなかった)こともあり、妻の人に運転を止められ車を立てて、病室まで出し、軽トラか何かで家の周りを、数週まわっていたらしい。(12:00)異常行動出現。除菌剤(バス)を数人だ。(18:30)帰宅し子供を出迎。家人に聞かされた。除菌剤を服用したことを自ら、ポケットに除菌剤のラベルを入れて持っていた。(18:45)意識消失。(19:00)救急車で他院へ搬送され、治療を受けた。入院。後遺症なし。入院後下痢が長く続いたため、体力消耗し、そのためいつもの状態に戻るのに日数を要した。インフルエンザ軽快・回復。 2007/2/28 回復。 2007/2/28 退院。	
304	B03008735	85	年	女性	全健忘	2003/12/28 ~12/28 1日2回	2003/12/29 1:00	-	-	-	14時間	No	解熱後	No	No	-	No	No	無	2003/12/28朝 悪寒腹痛、体温40℃。救急車で当院来診。上咽頭粘膜のインフルエンザ抗原陽性、脱水、低酸素血症あり。タミフル(150mg/日)、O2、補液開始。 2003/12/28午後 平熱になった。 2003/12/29 (1:00)入院したことを忘れており、失見当識、病棟内徘徊、ミオクローヌスなし。(9:00)頭部CT正常。記憶力低下(3分前のことを覚えていない)がつづく。主治医を見て「アンタ、タスキに似てるな、バカしてんじやないか?」と話す。(14:00)患者の息子を話し合い、インフルエンザが治ったこと、一過性全健忘で治ると思われることを報酬に自宅へ退院。(18:00)前日までの記憶が戻り、29日未明〜退院までの記憶が欠損。入院したことを忘れており、失見当識、病棟内徘徊。記憶力低下(3分前のことを覚えていない)がつづく。主治医を見て「アンタ、タスキに似てるな、バカしてんじやないか?」と話す	
305	B05024985	85	年	男性	譫妄	2006/2/3 ~2/5 1日2回	①2006/2/5 ②2006/2/8 ③2006/2/7 ①夕方 ②朝 ③1:30	-	-	-	-	Yes	解熱過程	No	No	No	No	No	失明患者	①興奮気味で意味不明なことを話す(眼が見えるようになって等)。 ②指が腫れ、今どこにもいらない、服用してわからない。 ③子供の声が聞こえ、窓を開けて外に出た。小さなタンス等を探しのけて出た。	認知症

異常な行動が記録されている事例の追加調査結果

※：継続投与後に異常行動を含む精神神経系症状を発生した事例
*：継続投与後に異常な行動を含む精神神経症候を発生しなかった事例

No	識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中：○、 就寝中じゃない：×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場 合、就寝時 刻から発現 までの時間	一回までの 回復までの 時間	一錠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒 等の既往	麻痺等 等の既往	先に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の既往	異常な行動 に誘発する 既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例：幻覚については具体的に何が見えたか？本人が幻覚を見たのか、 誰が幻覚を見ていたかと言っているのか？)	継続投 与例
306	B04027291	90	年	女性	肺炎	2005/3/10 3/11~3/13 3/14	18:00 1日2回 1日1回	2005/3/12	18:00	×	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1994頃 慢性腎不全、慢性心不全、甲状腺機能低下症発症。 2005/03/09 咳、痰、発熱あり。 2005/03/10 (15:00) 外来受診。インフルエンザB陽性、肺炎と心不全、腎不全 増悪あり、入院予定であったが、空床が無く、外来でロセフィン点滴と本剤、ムコ トロン、脱水の処方を行い一旦帰宅。 2005/03/11 (11:20) 入院。本剤、ロセフィン、感冒薬継続。 2005/03/12 (18:00) 点滴抜針。せん妄発現。 2005/03/13 (0:40) 意味不明の言動。(19:00) 採尿、興奮、職員への暴力。 (20:50) セレネース1A im。 2005/03/14 (15:00) 覚醒度不良。意味不明の言動、興奮は消失。夕方より、 本剤投与中止。 2005/03/15 上記の行動消失も日中確認。夜間は良好。 2005/03/18 ロセフィン投与中止。 2005/03/19 (15:00) つじつまの合わない発語が時々。 2005/03/20 (15:00) せん妄軽快、以前の状態へ回復。	無
307	B05025587	90	年	女性	①幻覚 ②異常行動	2006/2/15 2/16~2/17	夕 朝-夕	①2006/2/18 ②2006/2/18 ③2006/2/19	①1:00 ②4:30 ③7:00	-	-	-	解熱過程	No	No	No	No	No	2006/2/14 夕方頃より発熱38.3℃、せき、鼻水 2006/2/15 (15:00) 熱38.6℃。(17:00) 来院。2日間接触のあった者がインフルエ ンザだったことが判明したため、タミフル及び併用薬を処方(インフルエンザの確 定診断は行ってない)。帰宅後タミフル1カプセル服用。 2006/2/18 平熱、咳あり。薬 朝-夕服用。 2006/2/17 平熱、咳あり。薬 朝-夕服用。 2006/2/18 (1:00) 夜中、大きな声を出し幻覚症状訴える。薬中止。幻覚症状続 く。興奮状態。 2006/2/18 (4:30) 朝、大きな声をするので見ると部屋のサッシが開いて軒先金 く出られないところから外へ出た後、廊下に立っていた。左手を痛める(原因不 明)。排便後ベッドに入る。(7:00) 朝食のため呼びに行くと、また外へ出た座って いた。幻覚あり。床を取った後、疲れたように眠り続ける。時々水を取らせる も熱絡。(20:30) 夕食。手を痛がる。トイレ時、下着が上げられない。 2006/2/20 (10:00) 来院。左手首ねんざ、両下肢に打撲傷、擦り傷あり。 幻覚、異常行動回復。	無	
308	B05001178	94	年	男性	胃腸出血	2005/3/24	17:30	2005/3/27	17:00	-	No	-	解熱過程	No	No	No	No	No	1995/12/26 慢性腎不全にて血液透析開始。 2005/3/24 (午後19:5)の発熱のため透析後内科受診。インフルエンザA型と 診断。(18:00)入院。38.4℃(17:30)39.4℃。タミフル1cap、ロキソニン錠服用。タミ フル、ロキソニンは1回のみ。(21:00)BT36.7℃。その後は発熱を認めず。 2005/3/25 解熱。 2005/3/26 透析実施。 2005/3/27 (不穏行動の詳細は不明。興奮であり、3月27日曜日であった。 少し認知症の気があった。)吐しゃ物の潜血反応検査実施陽性(出血量としては 軽度) この時点から消化管出血があったかは疑問。(17:00)不穏な行動あり、 その後嘔吐(潜血反応)(19:00)一時禁食にしていたが、嘔吐、気分不快なく同 日夕食を介助にて摂取した。(この時にはタミフル服用なし) 2005/3/30 (8:00)朝食も半分量摂取。気分不穏等の訴えもない。(14:15)タミ フル中等量、胃腸薬あり。そのため朝食。(22:20)突然の下血多量(タミフル便)、顔 色不良。その後下血続いていた。翌日胃腸科に転院予定される。 2005/3/31 (2:30)呼吸状態悪化。血圧低下。挿管人工呼吸器装着。(3:00)血圧 低下。(3:30)心拍数低下(4:27)死亡確認。	不明	
309	B07013381	84	年	女性	異常行動	2007/3/29 2007/3/29 2007/3/30 2007/3/30 2007/4/1 2007/4/1 2007/4/2 2007/4/2 2007/4/3 2007/4/3	朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕 朝 夕	2007/3/29	夜間	×	-	-	Yes	発熱持続	No	No	No	No	No	2007/3/29 インフルエンザA型と診断。発症時の自覚各症状として発熱 (38.5℃)、頭痛、関節痛を認める。タミフルカプセル75の投与を開始(〜3月31 日)朝まで投与。夜間 異常行動(非重篤)発現。昼のわがままい発語とともに に意外に出て行ってしまった。異常行動は回復。その後は特に異常行動はな かった。	*
310	B07000403	小児		女性	異常行動	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	本剤投与後、「自分が透明になった。2階に足が引っ付いて離れない2時間くら い暴れ。母とおばがしばらく押さえつけてこたきを待たしたとの報告を受けた。もと もと患者は精神科に通っている。	不明	
311	B07013378	小児		男性	異常行動	-	-	2007/3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	熱性痙攣の既往あり。 不明 インフルエンザに対して、本剤の投与を開始。 2007/3 3人兄弟全てインフルエンザに感染したが、当患者だけ、家の中を走り 回るなど異常な行動が見られた。 不明 翌日には回復しており一時的であった。	熱性痙攣	
312	B07000209	青少年		男性	異常行動	2007/3/2	不明	2007/3/2	-	×	-	-	-	-	-	-	-	-	2007/3/2インフルエンザ治療のため、タミフル投与開始。(75mg×2/日)流行中 の革からの飛び出し。異常行動(非重篤)発現。異常行動回復。	不明	
313	B07027776	不明		男性	異常行動	-	-	-	-	-	-	-	-	No	-	-	-	-	不明 インフルエンザ治療のため、本剤を5日分処方。1日目の2カプセルを目飲ん だところまでは記憶はあるが、その後なくなる。朝、ベッドに座っていて、気がつくよ うから出血していた。知らぬ間にトイレのタンクを壊していた。水漏しに気づかず。異常 行動。手から血が出ていた発現。 その後服用を継続したが、異常行動はなかった。異常行動 回復。	-	